



八戸

「患者尊重する看護師に」

八学大2年生が宣誓式

八戸市の八戸学院大学(水野眞佐夫学長)は7日、同大で健康医療学部看護学科の学生による「宣誓式」を行った。1年間の基礎看護教育を終え、医療機関での本格的な実習を控える2年生59人が看護の道を歩む決意を新たに示した。

式で行ったキャンドルサービスでは、白衣に身を包んだ学生がろうそくを手に「人々の意志決定を尊重し、生活がより豊かなものになるように支援する」と声を合わせて誓った。

水野学長は「ろうそくの明かりのように、患者に明るく温かく寄り添ってほしい」と激励。2年生を代表して沖野綾香さん(21)が「患者の意志や多様性を尊重できる看護師になるため、絶えず学び続ける」と決意を述べた。

同学科では、今春卒業した61人全員が看護師国家試験に合格した。

(小松廉)

ろうそくを手に看護の道を歩む決意を新たに示した学生たち